

平成 21 年 度

東京大学入学者選抜要項



目 次

● 東京大学入学者選抜要項

1	選抜方式・実施期日	1
2	募集人員	1
3	出願資格	1
4	出願期間	2
5	出願について	3
	(1) 前期日程	3
	(2) 後期日程	3
	(3) 学内併願	3
6	入学者選抜方法	3
	【前期日程】	3
	【後期日程】	3
7	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	4
	【前期日程】	4
	【後期日程】	6
8	第2次学力試験の実施期日、出題教科・科目等、試験場及び合格者発表日	7
	【前期日程】	7
	(1) 実施期日	7
	(2) 出題教科・科目等	7
	(3) 試験場	9
	(4) 第1段階選抜合格者発表日	9
	(5) 合格者発表日	9
	【後期日程】	10
	(1) 実施期日	10
	(2) 出題教科・科目等	10
	(3) 試験場	10
	(4) 第1段階選抜合格者発表日	10
	(5) 合格者発表日	10
	(6) 科類の決定	10
9	障害等のある入学志願者の事前の相談について	11
10	資料の発表	11
	(1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点	11
	(2) 学力試験における個人別成績	11
11	その他	11
	(1) 前期課程教育	11
	(2) 前期課程の教育研究上の目的	11
	(3) 前期課程における科類の特徴	11
	(4) 後期課程への進学(進学振分け)	12
	(5) 後期課程の学部・学科等	13
	(6) 後期課程の各学部の教育研究上の目的	16
○	平成21年度東京大学入学者選抜方法等	17
○	平成21年度東京大学入学者選抜前期日程試験等の実施教科・科目等について(文科各類)	19
○	平成21年度東京大学入学者選抜前期日程試験等の実施教科・科目等について(理科各類)	20
○	平成21年度東京大学入学者選抜後期日程試験の実施教科・科目等について〔全科類(理科三類を除く)〕	21
○	平成21(2009)年度外国学校卒業学生特別選考	22
○	入学者募集要項等の請求方法	(裏表紙)
○	テレホンサービス	(裏表紙)
○	入学者選抜等に関する照会先	(裏表紙)

東京大学入学者選抜要項

1 選抜方式・実施期日

本学は「分離分割方式」（前期日程・後期日程）により、第2次学力試験を実施する。

試験実施期日はそれぞれ次のとおりである。

前期日程 平成21年2月25日(水)・26日(木)

後期日程 平成21年3月13日(金)

なお、平成21年度国公立大学（国際教養大学を除く。）の入学試験は、「分離分割方式」により実施される。

志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができる。したがって「前期—後期」の併願は認められるが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認められないので注意すること。

この際、「前期日程」の試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った者は、「後期日程」に出願済であってこれを受験した場合でもその合格者とはならない。

ただし、本学の前期日程と後期日程を併願する場合の取扱いについては、3ページの「5(3)学内併願」により実施するので慎重に検討の上、出願すること。

2 募集人員

平成21年度において、教養学部に入学者を許可する学生の募集人員は、次のとおりである。

募集人員（人）		前期日程（人）	後期日程（人）
文科一類	3,053	401	100
文科二類		353	
文科三類		469	
理科一類		1,108	
理科二類		532	
理科三類		90	
計	3,053	2,953	100

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、平成21年度大学入試センター試験のうち、本学が定める教科・科目のすべてを受験した者（4～6ページ参照）

なお、本学では大学入試センター試験の前年度の成績は利用しないので、平成21年度大学入試センター試験を必ず受験すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成21年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者及び平成21年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- エ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成21年3月31日までに合格見込みの者で、平成21年3月31日までに18歳に達するもの
- オ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの

（注）① 平成21年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内（出願資格）参照

② 上記オに該当する者とは、上記（1）、（2）及び（3）ア～エに該当しない者のうち、「外国人を対象に教育を行うことを目的にして我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する者又は有する見込みのある者」で、本学の入試制度委員会入学資格検討専門委員会において、申請者から提出された申請書類に基づき、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者とする。

③ 上記オで出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行うので、平成20年8月31日（日）（31日消印有効）までに、次の申請書類と返信用封筒（長形3号（縦23.5cm、横12.0cm）に郵便番号、住所、氏名を記載し430円分（簡易書留）の切手はり付け）を添えて、本学入試事務室に書留速達郵便（封筒の表に「入学資格認定申請書類」と朱書）で申請するものとする。

ただし、大学入試センター試験を受験した者で、新たに本学の受験を希望する者に限って、平成21年1月19日（月）～21日（水）（必着）の間、申請を受け付ける。

（申請書類）

- ・入学資格認定申請書（本学が定める様式：本学のホームページ参照）
- ・教育施設長発行（厳封）の卒業見込証明書又は卒業証明書
- ・教育施設の概要（教育施設の概要が明記された学校案内等）
- ・教育施設の規則（教科目、授業時間数及び卒業要件の明記されたもの）

（申請書類提出先・照会先）

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学入試事務室 電話番号 03-5841-2081

4 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とする。

平成21年1月26日（月）～平成21年2月4日（水）

5 出願について

本学は前期日程と後期日程で第2次学力試験を実施する。

出願の方法については以下のとおりである。

(1) 前期日程

文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類のうちから一つの科類に出願することができる。ただし、二つの科類に出願した場合は、いずれの科類についても受験を認めない。

(2) 後期日程

文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類を一本化して募集を行うので、科類を指定することなく出願することとなる。なお、入学手続の際に所属する科類を登録する。

(3) 学内併願

前期日程で一つの科類及び後期日程に併願することができる。ただし、**本学の前期日程の入学者選抜の合格者は、入学手続の完了の有無にかかわらず、本学の後期日程の第1段階選抜において不合格者として取り扱う。**

また、外国学校卒業学生特別選考に出願した場合（出願後、資格が無いと判断された者は除く。）は、前期日程・後期日程のいずれについても出願を認めない。

6 入学者選抜方法

【前期日程】

入学者の選抜は、学力試験（大学入試センター試験及び第2次学力試験）及び調査書による。

なお、入学志願者が次の各科類の募集人員に対する倍率に達した場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して第2次学力試験を行う。

文科一類	約 3.0倍	文科二類	約 3.0倍	文科三類	約 3.0倍
理科一類	約 2.5倍	理科二類	約 3.5倍	理科三類	約 4.0倍

合格者の判定は、大学入試センター試験の成績（総得点900点を110点に換算）と第2次学力試験の成績（総得点440点）とを総合（550点満点）して行う。

つまり、この比率は、大学入試センター試験の成績が「1」、第2次学力試験の成績が「4」となる。

【後期日程】

入学者の選抜は、学力試験（大学入試センター試験及び第2次学力試験）及び調査書による。

なお、入学志願者が募集人員に対し約5.0倍に達した場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して第2次学力試験を行う。

また、本学の前期日程と後期日程を併願した場合には、**本学の前期日程の入学者選抜の合格者は、入学手続を完了したかどうかにかかわらず、本学の後期日程の第1段階選抜において不合格者として取り扱う。**

合格者の判定は、第2次学力試験の結果に基づいて行う。

ただし、判定に必要な場合は、大学入試センター試験の成績や調査書を考慮することがある。

後期日程の第1段階選抜の倍率（約5.0倍）について

後期日程での第1段階選抜の倍率は、全出願者のうちから本学の前期日程合格者を除外した後の、出願者に対して実施する倍率（約5.0倍）である。

7 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】

文科各類（6教科7科目）

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	左の6科目のうちから1科目を選択
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」	左の3科目のうちから1科目を選択
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	左の4科目のうちから1科目を選択 ただし、「工業数理基礎」,『簿記・会計」, 『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、複数の科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』のリスニングテストの成績については、利用しない。

理科各類（5教科7科目）

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	左の9科目のうちから1科目を選択 なお、複数の科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」	
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	左の4科目のうちから1科目を選択 ただし、「工業数理基礎」,『簿記・会計』,『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから2科目を選択 なお、3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』のリスニングテストの成績については、利用しない。

【後期日程】

5教科6科目

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	左の9科目のうちから1科目を選択 なお、複数の科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」	
数学	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	必須 左の4科目のうちから1科目を選択 ただし、「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、複数の科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』についてはリスニングテストの成績を含む。（筆記200点、リスニング50点の合計250点を200点に換算する。）

8 第2次学力試験の実施期日、出題教科・科目等、試験場及び合格者発表日

【前期日程】

(1) 実施期日

科 類	試 験 日	時 間	教 科 等
文 科 各 類	平成21年2月25日(水)	9 : 30~12 : 00 (150分)	国 語
		14 : 00~15 : 40 (100分)	数 学
	平成21年2月26日(木)	9 : 30~12 : 00 (150分)	地 理 歴 史
		14 : 00~16 : 00 (120分)	外 国 語
理 科 各 類	平成21年2月25日(水)	9 : 30~11 : 10 (100分)	国 語
		14 : 00~16 : 30 (150分)	数 学
	平成21年2月26日(木)	9 : 30~12 : 00 (150分)	理 科
		14 : 00~16 : 00 (120分)	外 国 語

(2) 出題教科・科目等

科 類	教 科 等	科 目 等
文 科 各 類	国 語	国語総合、国語表現Ⅰ、現代文、古典
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトル）
	地 理 歴 史	日本史B、世界史B、地理Bの3科目のうち、あらかじめ出願の際に届け出た2科目
	外 国 語	(1) 英語（英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング） （注）英語試験の一部分に聞き取り試験を行う。（30分程度） (2) ドイツ語 (3) フランス語 (4) 中国語 のうち、あらかじめ出願の際に届け出た1外国語 ただし、問題の一部分は、届け出た外国語に代えて、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。

科 類	教 科 等	科 目 等
理科各類	国 語	国語総合, 国語表現 I
	数 学	数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A, 数学 B (数列, ベクトル) 数学 C (行列とその応用, 式と曲線)
	理 科	「物理 I・物理 II」, 「化学 I・化学 II」, 「生物 I・生物 II」, 「地学 I・地学 II」 の 4 科目のうち, あらかじめ出願の際に届け出た 2 科目
	外 国 語	(1) 英語 (英語 I, 英語 II, リーディング) (注) 英語試験の一部分に聞き取り試験を行う。(30分程度) (2) ドイツ語 (3) フランス語 (4) 中国語 のうち, あらかじめ出願の際に届け出た 1 外国語 ただし, 問題の一部分は, 届け出た外国語に代えて, 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, 韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。
<p>(注) 理科の出題範囲は次のとおりである。</p> <p>「物理 I・物理 II」 物理 I, 物理 II (「力と運動」, 「電気と磁気」, 選択範囲からは「物質と原子」のうち, 原子・分子の運動 (熱力学を含む) を指定)</p> <p>「化学 I・化学 II」 化学 I 及び化学 II の「物質の構造と化学平衡」で学ぶことを基礎とする問題を 出題する。題材として, 化学 II の「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。</p> <p>「生物 I・生物 II」 生物 I, 生物 II から出題する。生物 II の「生物の分類と進化」, 「生物の集団」 の中から出題する場合は, いずれかを履修していない生徒のいることを考慮し, 背景を説明した上で総合問題として出題する, 選択問題にする, などの配慮を行う。</p>		
<p>[入学後の教養学部における講義について]</p> <p>①前期課程 (1・2 年次) 理科各類…前期課程の理科各類では, 数理科学, 物質科学 (物理学, 化学) 及び生命科学が必修科目に含まれている。</p> <p>数理科学では, 数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A, 数学 B, 数学 C を入学までに学習していることを前提とした講義がなされる。</p> <p>②医学部医学科への進学希望者へ…医学部医学科では, 教養学部前期課程において開講している 主題科目の中の全学体験ゼミナール「医学に接する」を, 医学科に進学を希望する者が全員履修 すべき科目と考えている。本科目は, 教養学部前期課程において医師の能力・適性等を多元的 に見極めるために開講している。</p> <p>また, 理科三類の学生に対して, 基礎科目「人間総合科学」を開講している。本科目は, より 高いレベルで医師としての能力・適性を見極めるための講義である。</p> <p>ここに掲載した二つの科目の実施方法や講義内容等については特に重要なので, 主題科目の中 の全学体験ゼミナール「医学に接する」ガイダンス時 (4 月上旬に実施) に詳細を説明する。</p>		

(3) 試 験 場

〔文科各類〕 東京大学駒場 I キャンパス (東京都目黒区駒場)

〔理科各類〕 東京大学本郷地区キャンパス (東京都文京区本郷及び弥生)

(4) 第 1 段階選抜合格者発表日

平成21年 2 月11日 (水)

(5) 合格者発表日

平成21年 3 月10日 (火)

【後期日程】

(1) 実施期日

科 類	試 験 日	時 間	教 科 等
全 科 類 (理科三類を除く)	平成21年 3 月13日(金)	9 : 30～11 : 30 (120分)	総 合 科 目 Ⅲ
		13 : 00～15 : 00 (120分)	総 合 科 目 Ⅰ
		16 : 00～18 : 00 (120分)	総 合 科 目 Ⅱ

(2) 出題教科・科目等

科 類	教 科 ・ 科 目 等	
全 科 類 (理科三類を除く)	総合科目Ⅰ	英語の読解力と記述力を見る。 (英語読解・記述を通して、表現力、構成力などを審査する。)
	総合科目Ⅱ	事象の解析への数学の応用力を見る。 (自然や社会のさまざまな事象を数学的に解析することを問う。 ここで用いられる数学の知識は高等学校又は中等教育学校における数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列, ベクトル)・数学C(行列とその応用, 式と曲線)にわたるが, この科目では数学の総合的な应用能力を審査する。)
	総合科目Ⅲ	文化, 社会, 科学等に関する問題について論述させ, 理解力・思考力・表現力を見る。
<p>[入学後の教養学部における講義について]</p> <p>①前期課程(1・2年次)理科各類…前期課程の理科各類では, 数理科学, 物質科学(物理学, 化学)及び生命科学が必修科目に含まれている。 数理科学では, 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学Cを入学までに学習していることを前提とした講義がなされる。</p> <p>②医学部医学科への進学希望者へ…医学部医学科では, 教養学部前期課程において開講している主題科目の中の全学体験ゼミナール「医学に接する」を, 医学科に進学を希望する者が全員履修すべき科目と考えている。本科目は, 教養学部前期課程において医師の能力・適性等を多面的に見極めるために開講している。 ここに掲載した科目の実施方法や講義内容等については特に重要なので, 主題科目の中の全学体験ゼミナール「医学に接する」ガイダンス時(4月上旬に実施)に詳細を説明する。</p>		

(3) 試 験 場

東京大学本郷地区キャンパス(東京都文京区本郷)

(4) 第1段階選抜合格者発表日

平成21年 3 月10日(火)

(5) 合格者発表日

平成21年 3 月22日(日)

(6) 科類の決定

入学手続の際に所属する科類(文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類)を登録する。

9 障害等のある入学志願者の事前の相談について

受験あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談すること。

なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願する前のできるだけ早い時期に入試事務室（裏表紙参照）まで申し出ることが望ましい。特に、点字又は代筆による解答を希望する者については、平成20年12月15日（月）までに申出がなかった場合、特別措置による受験ができなくなることもあるので、十分注意すること。

10 資料の発表

(1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点

合格者の学力試験における最高点・最低点及び平均点は、合格者発表時に東京大学本郷地区キャンパス内で発表する。

なお、前期日程においては、科類別に発表する。

(2) 学力試験における個人別成績

学力試験での個人別成績は、第2次学力試験総得点及び順位（段階別）を、次のとおり郵送で通知する。

ただし、合格者に対しては行わない。また、大学入試センター試験の個人別成績は通知しない。

- ① 前期日程の学力試験総合成績 平成21年3月11日以降
- ② 後期日程の第2次学力試験成績 平成21年3月23日以降

11 その他

(1) 前期課程教育

本学に入学を許可された学生は、教養学部にも所属して前期課程2年間の学修をする。（前期課程の修業年限は2年である）

そのうち初めの1年半は、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類の六つの類に分かれ、リベラル・アーツ教育によって幅広く深い教養と豊かな人間性を培うとともに、後期課程の専門教育に必要な基礎的な知識と方法を学ぶ。後の半年は、進学が内定した学部・学科での学修の基礎となるべき専門教育科目を主として学ぶ。

(2) 前期課程の教育研究上の目的

特定の専門分野に偏らない総合的な視野を獲得させるリベラル・アーツ教育を行い、同時に専門課程に進むために必要な知識や知的技能を身につけ、専門的なものの見方や考え方の基本を学びとらせることを目的とする。

(3) 前期課程における科類の特徴

文科一類：法と政治を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と社会について広い見識を養う。

文科二類：経済を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と組織について広い見識を養う。

文科三類：言語，思想，歴史を中心にして人文科学全般の基礎を学び，関連する社会科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め，人間と文化的・社会的営為について広い見識を養う。

理科一類：数学，物理学，化学を中心にして数理科学・物質科学・生命科学の基礎を学び，自然の基本法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深める。

理科二類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，自然の諸法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深める。

理科三類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，人間についての探究心を養い，生命と社会の関わりについても理解を深める。

(4) 後期課程への進学（進学振分け）

学生は2年間の前期課程を終えると，後期課程へ進学する。

進学する学部・学科等は入学後1年半を経た後に，学生の志望と成績をもとにして内定される。

前期課程の各料類の学生が主に進学する後期課程の学部・学科は以下のとおりである。

（〔6年制〕は前期課程2年，後期課程4年の学科を示す。他はすべて，前期課程2年，後期課程2年の4年制学科である。）

文科一類……**法学部**〔第1類，第2類，第3類〕

教養学部〔超域文化科学科，地域文化研究学科，総合社会科学科，基礎科学科（科学史・科学哲学），広域科学科，生命・認知科学科（認知行動科学）〕

文科二類……**経済学部**〔経済学科，経営学科，金融学科〕

教養学部〔超域文化科学科，地域文化研究学科，総合社会科学科，基礎科学科（科学史・科学哲学），広域科学科，生命・認知科学科（認知行動科学）〕

文科三類……**文学部**〔思想文化学科，歴史文化学科，言語文化学科，行動文化学科〕

教育学部〔総合教育科学科〕

教養学部〔超域文化科学科，地域文化研究学科，総合社会科学科，基礎科学科（科学史・科学哲学），広域科学科，生命・認知科学科（認知行動科学）〕

理科一類……**工学部**〔社会基盤学科，建築学科，都市工学科，機械工学科，機械情報工学科，航空宇宙工学科，精密工学科，電子情報工学科，電気電子工学科，物理工学科，計数工学科，マテリアル工学科，応用化学科，化学システム工学科，化学生命工学科，システム創成学科〕

理学部〔数学科，情報科学科，物理学科，天文学科，地球惑星物理学科，地球惑星環境学科，化学科，生物化学科，生物学科，生物情報科学科〕

薬学部〔薬科学科，薬学科〔6年制〕〕

農学部〔応用生命科学課程，環境資源科学課程〕

医学部〔健康科学・看護学科〕

教養学部〔基礎科学科，広域科学科，生命・認知科学科，超域文化科学科，地域文化研究学科，総合社会科学科〕

理科二類……**農学部**〔応用生命科学課程，環境資源科学課程，獣医学課程〔6年制〕〕

薬学部〔薬科学科，薬学科〔6年制〕〕

理学部〔地球惑星環境学科，化学科，生物化学科，生物学科，生物情報科学科〕

工学部〔応用化学科，化学システム工学科，化学生命工学科，マテリアル工学科，システム創成学科，電子情報工学科，電気電子工学科，機械工学科，機械情報工学科，計数工学科，都市工学科，精密工学科，物理工学科〕

医学部〔健康科学・看護学科，医学科〔6年制〕〕

教養学部〔基礎科学科，広域科学科，生命・認知科学科，超域文化科学科，地域文化研究学科，総合社会科学科〕

理科三類……**医学部**〔医学科〔6年制〕〕

平成18年度新入生から，すべての科類からどの学部にも進学できる進学枠が設けられている。これを含め，後期課程の学部・学科によっては，上記の主として受け入れる科類以外からの進学もできる場合がある。

また，文科一類から法学部，文科二類から経済学部，理科三類から医学部医学科を志望する場合にも，成績による進学振分けが実施される。

(5) 後期課程の学部・学科等

後期課程の修業年限は，2年（ただし，医学部医学科，農学部獣医学課程及び薬学部薬学科は4年）である。

法学部 第1類（私法コース）
第2類（公法コース）
第3類（政治コース）

経済学部 経済学科
経営学科
金融学科

文学部 思想文化学科
哲学，中国思想文化学，インド哲学仏教学，倫理学，宗教学宗教史学，美学
芸術学，イスラム学の各専修課程
歴史文化学科
日本史学，東洋史学，西洋史学，考古学，美術史学の各専修課程
言語文化学科

言語学，日本語日本文学（国語学），日本語日本文学（国文学），中国語中国文学，インド語インド文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，フランス語フランス文学，スラヴ語スラヴ文学，南欧語南欧文学，現代文芸論，西洋古典学の各専修課程

行動文化学科

心理学，社会心理学，社会学の各専修課程

教育学部

総合教育科学科

基礎教育学専修（基礎教育学コース）

教育社会科学専修（比較教育社会学コース，教育実践・政策学コース）

心身発達科学専修（教育心理学コース，身体教育学コース）

教養学部

超域文化科学科

文化人類学，表象文化論，比較日本文化論，言語情報科学の各分科

地域文化研究学科

アメリカ地域文化研究，イギリス地域文化研究，フランス地域文化研究，ドイツ地域文化研究，ロシア・東欧地域文化研究，アジア地域文化研究，ラテンアメリカ地域文化研究の各分科

総合社会科学科

相関社会科学，国際関係論の各分科

基礎科学科

数理科学，物性科学，分子科学，生体機能，科学史・科学哲学の各分科

広域科学科

広域システム，人文地理の各分科

生命・認知科学科

基礎生命科学，認知行動科学の各分科

工学部

社会基盤学科

設計・技術戦略，政策・計画，国際プロジェクトの各コース

建築学科

都市工学科

都市環境工学，都市計画の各コース

機械工学科

機械情報工学科

航空宇宙工学科

航空宇宙システム学，航空宇宙推進学の各コース

精密工学科

電子情報工学科

電気電子工学科

物理工学科

計数工学科

数理情報工学，システム情報工学の各コース

マテリアル工学科

バイオマテリアル，マテリアル環境・基盤，情報ナノマテリアルの各コース

応用化学科

化学システム工学科

化学生命工学科

システム創成学科

環境・エネルギーシステム，シミュレーション・数理社会デザイン，知能社会システムの各コース

理 学 部

数学科

情報科学科

物理学科

天文学科

地球惑星物理学科

地球惑星環境学科

化学科

生物化学科

生物学科

動物学，植物学，人類学の各コース

生物情報科学科

農 学 部

応用生命科学課程

生命化学・工学，応用生物学，森林生物科学，水圏生命科学，動物生命システム科学，生物素材化学の各専修

環境資源科学課程

緑地生物学，森林環境資源科学，水圏生産環境科学，木質構造科学，生物・環境工学，農業・資源経済学，フィールド科学，国際開発農学の各専修

獣医学課程 [後期課程 4 年制]

獣医学専修

薬 学 部

薬科学科

薬学科 [後期課程 4 年制]

医 学 部

医学科 [後期課程 4 年制]

健康科学・看護学科

(6) 後期課程の各学部教育研究上の目的

- 法学部：法学と政治学を中核とした教育研究を通じて、幅広い視野をそなえ、法的思考と政治学的識見の基礎を身につけた人材を養成することを目的とする。
- 医学部：生命科学・医学・医療の分野の発展に寄与し、国際的指導者になる人材を育成することを目的とする。すなわち、これらの分野における問題の的確な把握と解決のために創造的研究を遂行し、その成果に基づいた全人的医療を実践しうる能力を学生に修得させることを目指す。
- 工学部：豊かな教養、国際性、科学技術に対する体系的な知識を身につけ、研究、開発、設計、生産、計画、経営、政策提案等において、工学的手法を活用して人類社会の持続と発展に貢献できる指導的人材を養成することを目的とする。
- 文学部：人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解を目指して、文献読解、資料分析、実験・調査といった基本的な方法論を身につけ、広く深い素養を獲得することを通じて、人類文化の継承と発展に寄与しうる人材を育成することを教育研究の目的とする。
- 理学部：自然界の仕組みを体系的に理解して、自然科学の諸分野で先端的な研究を行う人材及び理学の素養の上に社会で創意ある活動を行う人材養成を目指し、学生自らが第一線の研究に触れる中から自然に問いかけ思索する能力を修得させることを目標とする。
- 農学部：農学を構成する応用諸科学に関する専門教育を段階的・体系的に行い、食料・資源・環境等の問題の解決に必要な高度の専門知識と幅広い視野を有し、社会・文化・産業活動を通じて地球社会の要請に応えることのできる洞察力・実践力・指導力を備えた人材を育成することを目的とする。
- 経済学部：経済学・経営学の多様な分野に関する理論的・実証的な学説・知識を体系的に講義するとともに、演習などで個別研究を行う機会を提供することによって、国際的な視野に立って実業界・官界・学界などで活躍する人材を養成することを目的とする。
- 教養学部：学際的教育の前提としての専門分野の基礎学力の養成、更に専門分野を超えた総合的理解力・判断力の養成、問題解決能力を備えた社会的リーダーシップをとりうる人材の養成、世界に開かれた視野と発信力の養成を教育研究上の目的とする。
- 教育学部：広い視野と学識にもとづいて深く教育学を中心とする専門的知識と教養を形成し、教育を中心とする諸分野の指導的人材を養成することを目的とする。
- 薬学部：医薬の創製からその適正使用までを目標とし、生命に関わる物質及びその生体との相互作用を対象とする学問体系である。本学部は創薬科学及び基礎生命科学の発展に寄与する研究者、医療行政に貢献する人材、高度医療を担う薬剤師の養成を教育研究の目的とする。

平成 21 年度 東京大学入学者選抜方法等
(一般選抜, 専門高校・総合学科卒業生選抜, アドミッション・オフィス入試)

選 抜 方法等	個別学力検査等 (第 2 次学力試験)										専門高校・総合学科卒業生選抜				アド ミッ ション ・ オフィ ス入 試	東京大学 第 2 次学 力試験等 の日程	備考(欠員の補充の方法等)	
	科 類	実技検査等					2 段 階 選 抜					実技検査等						
		個別 学力 検査 を課 する	実技 検査 を課 する	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	第 1 段階の選抜 による合格者数		個別 学力 検査 を課 する	実技 検査 を課 する	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	募集 人員				
							主として, 調査書の内 容と大学入 試センター 試験の成績 により第 1 段階選抜を 行い, その 合格者につ いて更に必 要な検査等 を行う	定員に 対する 倍 率										その 他
前 期 日 程	文科一類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×	<u>【前期日程】</u> 2月25日(水)・26日(木) <u>【後期日程】</u> 3月13日(金) (※外国学 校卒業学生 特別選考は 22・23ペー ジ参照)	
	文科二類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×		
	文科三類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×		
	理科一類	○	×	×	×	○	○	約2.5倍	×	×	×	×	×	×	×	×		
	理科二類	○	×	×	×	○	○	約3.5倍	×	×	×	×	×	×	×	×		
	理科三類	○	×	×	×	○	○	約4.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×		
後 期 日 程	全科類 (理科三類 を除く)	○	×	×	×	×	○	*約5.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×		

(*注) 本学への出願は、前期日程で一つの科類及び後期日程に併願することができる。ただし、併願した場合には、本学の前期日程の入学者選抜の合格者は、科類のいかんを問わず、入学手を完了したかどうかにかかわらず、本学の後期日程の第 1 段階選抜において不合格者として取り扱う。したがって、後期日程での第 1 段階選抜の倍率は、全出願者のうちから本学の前期日程合格者を除外した後の、出願者に対して実施する倍率(約 5.0 倍)である。(3 ページ参照)

平成 21 年度 東京大学入学者選抜方法等（特別選抜）

選 抜 方法等	推 薦 入 学							帰国子女・社会人等のための特別選抜				備 考	
	入学定員の一部について，出身学校長の推薦に基づき，学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							外国学校卒業 学生特別選考		中国引 揚者等 子女	社会人		
	個別学 力検査 を免除 し，大 学入試 センタ ー試験 を課す る	個別学 力検査 及び大 学入試 センタ ー試験 を免除 する	実 技 検 査 等					推薦入 学募集 人 員	第 1 種 〔外国人 であっ て日本 国の永 住許可 を得て いない 者〕				第 2 種 〔日本人 及び第 1 種以 外の外 国人〕
			実技検 査を課 す る	面 接 を行っ る	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	その他						
文 科 一 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
文 科 二 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
文 科 三 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
理 科 一 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
理 科 二 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
理 科 三 類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	

平成 21 年度 東京大学入学選抜前期日程試験等の実施教科・科目等について（文科各類）

学術・学科等名 及び募集人員等 (平成 20 年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 注 1		個別学力検査等 (第 2 次学力試験) 注 2		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 注 3							特別の選 抜方法等	その他	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語			配 点 計
文科一類 3.4 401 人 前期 その他 若干	2月 25・ 26 日	国語	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B から 1	国語総合・国語表現 I・現代文・古典 教 I・教 II・教 A・教 B	約 3.0 倍	センター試験	200	100	100	200	100	200	900	韓国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民 教 理 外	現社, 倫, 政経から 1 教 II・教 B, 工, 簿・会, 情報から 1 物 I, 化 I, 生 I, 地学 I から 1 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [6 教科 7 科目]	日 B, 世 B, 地理 B から 2 英 (英 I・英 II・リーディング), 独, 仏, 中から 1		200	120	120	80	120	440				
文科二類 3.7 353 人 前期 その他 若干	2月 25・ 26 日	国語	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B から 1	国語総合・国語表現 I・現代文・古典 教 I・教 II・教 A・教 B	約 3.0 倍	センター試験	200	100	100	200	100	200	900	韓国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民 教 理 外	現社, 倫, 政経から 1 教 II・教 B, 工, 簿・会, 情報から 1 物 I, 化 I, 生 I, 地学 I から 1 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [6 教科 7 科目]	日 B, 世 B, 地理 B から 2 英 (英 I・英 II・リーディング), 独, 仏, 中から 1		200	120	120	80	120	440				
文科三類 3.6 469 人 前期 その他 若干	2月 25・ 26 日	国語	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B から 1	国語総合・国語表現 I・現代文・古典 教 I・教 II・教 A・教 B	約 3.0 倍	センター試験	200	100	100	200	100	200	900	韓国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民 教 理 外	現社, 倫, 政経から 1 教 II・教 B, 工, 簿・会, 情報から 1 物 I, 化 I, 生 I, 地学 I から 1 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [6 教科 7 科目]	日 B, 世 B, 地理 B から 2 英 (英 I・英 II・リーディング), 独, 仏, 中から 1		200	120	120	80	120	440				

注 1【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(1) 工業教理基礎、簿記・会計、情報関係基礎を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。

(2) 英語のリスニングテストの成績については、利用しない。

注 2【個別学力検査等】欄

(1) 数学 B の出題範囲は次のとおりである。

数学 B (「数列」, 「ベクトル」)

(2) 英語試験の一部に関与試験を行う。(30分程度)

注 3【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

学力試験の成績の判定は、大学入試センター試験の成績 (総得点 900 点を 110 点に換算) と個別学力検査の成績 (総得点 440 点) とを総合 (550 点満点) して行う。この比率は、大学入試センター試験の成績を「1」、個別学力検査の成績を「4」とする。

平成 21 年度 東京大学入学選抜前期日程試験等の実施教科・科目等について（理科各類）

学術・学科等名 及び募集人員等 (平成 20 年度) (志願倍率)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		注 1		個別学力検査等 (第 2 次学力試験)		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等					注 3 点 計	特別の選 抜方法等	その他		
	学力検査等の 区分・ 日程	教科	科目名	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学				理科	外国語
理科一類 2.8 1,108 前期 その他 若干	2月25・ 26日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 英・独 ※地歴、公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, } 地理B, 倫, 政経 } 公民 } 数学I・数学A } 数学II・数学B, 工, 簿・会, 情報から1 } 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } ※地歴, 公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	国 数 理 外	国語総合・国語表現I 数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	センター試験	200	*100	*100	200	**200	200	200	900	帰国子女 外国人 追加合格	
理科二類 4.3 532 前期 その他 若干	2月25・ 26日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 英・独 ※地歴、公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, } 地理B, 倫, 政経 } 公民 } 数学I・数学A } 数学II・数学B, 工, 簿・会, 情報から1 } 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } ※地歴, 公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	国 数 理 外	国語総合・国語表現I 数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	センター試験	200	*100	*100	200	**200	200	200	900	帰国子女 外国人 追加合格	
理科三類 4.6 90 前期 その他 若干	2月25・ 26日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 英・独 ※地歴、公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, } 地理B, 倫, 政経 } 公民 } 数学I・数学A } 数学II・数学B, 工, 簿・会, 情報から1 } 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } ※地歴, 公民を合わせて1教科として扱う。 [5教科7科目]	国 数 理 外	国語総合・国語表現I 数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	センター試験	200	*100	*100	200	**200	200	200	900	帰国子女 外国人 追加合格	

注 1 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】 欄

(1) 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけである。

(2) 英語のリスニングアスタットの成績については、利用しない。

注 2 【個別学力検査等】 欄

(1) 英語試験の一部に関き取り試験を行う。(30分程度)

(2) 数学B、数学Cの出題範囲は次のとおりである。

数学B：【数列】、「ベクトル」、数学C：【行列とその応用】、「式と曲線」)

(3) 理科の出題範囲は次のとおりである。

【物理I・物理II】 物理I：物理II(力と運動)、「電気と磁気」、選択範囲からは「物質と原子」のうち、原子・分子の運動(熱力学を含む)を指定)

【化学I・化学II】 化学I及び化学IIの「物質の構造と化学平衡」で学ぶことを基礎とする問題を出題する。題材として、化学IIの「生活と物質」、「生命と物質」、「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。

【生物I・生物II】 生物I、生物IIから出題する。生物IIの「生物の分類と進化」、「生物の集団」の中から出題する場合は、いずれかを履修していない生徒のいることを考慮し、背景を説明した上で総合問題として出題する、選択問題にする、などの配慮を行う。

注 3 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】 欄

(1) 学力試験の成績の判定は、大学入試センター試験の成績(総得点900点を110点に換算)と個別学力検査の成績(総得点440点)とを総合(550満点)して行う。この比率は、大学入試センター試験の成績を「1」、個別学力検査の成績を「4」とする。

(2) 配点に*印を付してある教科は、複数科目を受験した場合に高得点の科目の成績を合否判定に利用することを表す。

(3) 配点に**印を付してある教科(理科)は2科目受験を要する。

平成 21 (2009) 年度 外国学校卒業学生特別選考


東京大学

実施科類	文科一類, 文科二類, 文科三類 理科一類, 理科二類, 理科三類
募集人員	文科一類, 文科二類, 文科三類 理科一類, 理科二類, 理科三類 } 第 1 種, 第 2 種 各若干名
出願資格	<p>[第 1 種] (外国人であって日本国の永住許可を得ていない者) 平成16(2004)年 4 月 1 日から平成21(2009)年 3 月31日までの間に, 次の基礎資格を取得し, かつ, 要件を満たしている者とする。</p> <p>(1) 基礎資格 次のア, イいずれかに該当すること。 ア 外国において, 我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 「外国において, 我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校」とは, 地理的, 場所的に外国で, 原則として, その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって, 修了により大学への受験資格を得られることを要する。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については, 本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので, 早めに照会すること。 イ 文部科学大臣の指定した者 ○ 外国において, スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達したもの ○ 外国において, ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で18歳に達したもの ○ 外国において, フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で18歳に達したもの</p> <p>(2) 要件 次に掲げるすべての要件を満たすこと。 ア 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験 (平成20(2008)年 6 月, 11月実施のいずれか) の所定の科目をすべて受験すること (日本語・英語いずれの出題言語でも受験可)。所定の科目とは, 文科各類を志望する者は文科系の科目である「日本語」・「総合科目」・「数学 (コース 1)」, 理科各類を志望する者は理科系の科目である「日本語」・「理科 (物理・化学・生物から 2 科目選択)」・「数学 (コース 2)」のことである。 注) 数学のコース選択を注意すること。コースの選択を間違えた者は, 第 1 次選考不合格者とみなすので注意すること。 イ TOEFL (Test of English as a Foreign Language) を受験すること (PBT, CBT, iBTいずれでも可)。なお, 出願期間までに Official Score Report 又は Examinee's Score Record が提出できれば, 受験時期は問わない。 ウ 外国の学校に, 原則として, 最終学年を含め継続して 1 年以上在学し, その最終学校を修了すること。</p> <p>[第 2 種] (日本人及び第 1 種以外の外国人) 平成19(2007)年 4 月 1 日から平成21(2009)年 3 月31日までの間に, 次の基礎資格を取得し, かつ, 要件を満たしている者とする。</p> <p>(1) 基礎資格 次のア, イいずれかに該当すること。 ア 外国において, 我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 「外国において, 我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校」とは, 地理的, 場所的に外国で, 原則として, その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって, 修了により大学への受験資格を得られることを要する。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については, 本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので, 早めに照会すること。 なお, 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設出身者は出願が認められない。 イ 文部科学大臣の指定した者 ○ 外国において, スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達したもの ○ 外国において, ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で18歳に達したもの ○ 外国において, フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で18歳に達したもの</p> <p>(2) 要件 次のア, イいずれかの要件を満たすこと。 ア 外国の学校に最終学年を含め継続して 3 年以上在学し, その最終学校を修了すること。ただし, 最終学年の休業等によって書類上の在学期間が 3 年未満となる場合については, 12月下旬に行う出願資格審査において, 3 年以上在学した者との実質的な同等性について判断する。</p>

出願資格	イ 外国の学校に最終学年を含め最終学年からさかのぼって連続する6年間のうち通算で5年以上在学し、その最終学校を修了すること。 ただし、休業等によって書類上の在学期間が5年未満となる場合については、12月下旬に行う出願資格審査において、5年以上在学した者との実質的な同等性について判断する。
選抜方法等	<p>[第1種] (外国人であって日本国の永住許可を得ていない者)</p> <p>(1) 第1次選考 書類選考, 日本留学試験及びTOEFL (Test of English as a Foreign Language) の成績</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 面接 なお, 小論文については次のとおりである。 [小論文] 2問を課す。 2問とも日本語で解答すること。</p> <p>[第2種] (日本人及び第1種以外の外国人)</p> <p>(1) 第1次選考 書類選考</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 学力試験, 面接 なお, 小論文及び学力試験の出題教科・科目については次のとおりである。 [小論文] 2問を課す。 第1問は日本語で解答し, 第2問は次の言語のうちからあらかじめ出願の際に届け出たもので解答すること。英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, イタリア語, 韓国朝鮮語, アラビア語</p> <p>[学力試験]</p> <p>(文科各類)</p> <p>外国語 英語 (英I, 英II, リーディング), ドイツ語, フランス語, 中国語から1外国語 ただし, 問題の一部は, 届け出た外国語に代えて, 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, 韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。 ※英語試験の一部に聞き取り試験を行う。(30分程度)</p> <p>(理科各類)</p> <p>数学 数I, 数II, 数III, 数A, 数B (数列, ベクトル), 数C (行列とその応用, 式と曲線)</p> <p>理科 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2科目</p>
出願期間	第1種 平成20(2008)年12月1日(月)から12月8日(月)まで 第2種 平成20(2008)年11月4日(火)から11月11日(火)まで
選抜期日	第1種 平成21(2009)年2月25日(水), 3月17日(火) 第2種 平成21(2009)年2月25日(水)・26日(木), 3月17日(火)
合格発表日	平成21(2009)年3月22日(日)
その他	「平成21(2009)年度外国学校卒業学生募集要項」は, 交付中である。 交付場所は本郷キャンパス正門・赤門・広報センター (龍岡門), 駒場Iキャンパス正門である。また, 請求方法は裏表紙参照のこと。

○入学者募集要項等の請求方法

郵送を希望する場合は下記の(1)～(3)の方法で申し込むこと
(東京大学からは郵送しないので注意すること)。

- (1) 大学のホームページから直接請求する場合【受付から2, 3日程で送付】
詳しくは、東京大学ホームページ(<http://www.u-tokyo.ac.jp>)にアクセスすること。
- (2) インターネット(パソコン・携帯電話)または自動音声応答電話で請求する場合
 - ① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスする。

インターネットの場合 (パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp パソコン、携帯電話(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)ともアドレスは共通。	バーコード読み取り機能付き携帯電話で右のQRコードを読み取り、アクセス可。	
自動音声応答電話の場合	IP電話 050-2015-0555 (または一般電話 06-6222-0102) ※IP電話の通話料は一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分ごとに約11円かかる。		

- ② 資料請求番号(6けた)を入力またはプッシュ。

資料名	資料請求番号	送料	発送開始日
選抜要項	562462	180円	7月25日
大学案内	562472	210円	7月25日
選抜要項+大学案内	562452	290円	7月25日
募集要項	582452	290円	11月15日
募集要項+大学案内	542452	290円	11月15日
外国学校卒業学生募集要項	582462	210円	7月1日
外国学校卒業学生募集要項+大学案内	542462	290円	7月25日

- ③ あとはガイダンスに従って登録。

*一度利用した暗証番号(4けた)は必ずひかえておくこと。
*送料は、資料到着後、同封されている支払方法に従い支払うこと。
*発送開始日までの請求は予約受付の扱いとなる。

- (3) 郵便局で請求する場合(10月より案内開始)【受付から1週間程度で送付】
郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込むこと。なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もある。

(1), (2), (3)の請求方法についてのお問い合わせ先→テレメールカスタマーセンター
Tel 050-2015-5050 (9:30~18:00)

- (4) 大学に直接訪問して受領する場合

交付場所
本郷地区キャンパス：正門、赤門、広報センター(龍岡門)、
コミュニケーションセンター(赤門脇)、
東大生協(安田講堂売店、書籍部)、農学部正門
駒場Iキャンパス：正門、コミュニケーションプラザ北館1階生協購売部

○テレホンサービス 電話番号 03(3818)9900

次の期間中テレホンサービスを行う。

- (1) 募集要項の請求方法について
平成20年11月4日(火)～平成21年1月25日(日)
- (2) 出願状況について
平成21年1月26日(月)午後5時～平成21年2月24日(火)
- (3) 追加合格について
平成21年3月28日(土)午前9時～平成21年3月31日(火)

○入学者選抜等に関する照会先

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学入試事務室

電話番号 03(5841)1222

外国学校卒業学生特別選考については、電話番号 03(5841)2084

(注)照会は、志願者本人が行うこと。

東京大学ホームページ <http://www.u-tokyo.ac.jp/>

携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/u-tokyo/>



(携帯電話サイト用QRコード)